

たてこし

生きがいとふれあいに満ちた心豊かな暮らしのあるまち 館腰

vol. **32**
2020.10.1 発行



◎今号の表紙

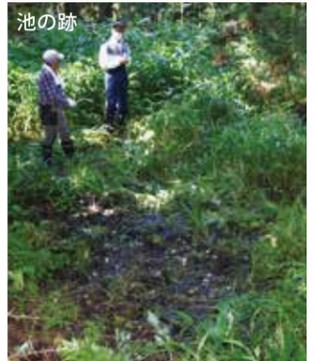
9月12日に行われた竹あかりと朝日三面川太鼓による幻想的なコラボ！竹灯籠で描かれたこの図柄なんだかわかりますか？正解は3ページの特集でご確認ください。

地域の歴史資料

妙道寺(小揚)と妙童寺(布部)



小揚 須貝 誠一



前回の館腰地域まちづくり通信に寄稿した妙道寺の場所の写真については、私が間違った場所を案内してしまいお詫びします。妙道寺跡は市道柳生戸〜小揚線の小揚集落から2km上流にあります。私がまだ高校生当時、集落の長老齋藤金五郎氏(齋藤保氏の曾祖父)によれば、布部の妙童寺は元は小揚

にあつたと昔から言い伝えられていました。

小揚の妙道寺は、ある夜の晩に突然「ノノベイゴーン(布部)、ノノベイゴーン」と鐘が鳴り、和尚は妙道寺を捨てて布部に逃げたと言われています。現在の布部のお寺は「月夜山妙童寺の山号がついたと言われ、元は真言宗、鷲霊峰松涛庵」と称し、応永年中に無庵宗吾和尚が開基し耕雲寺の末寺として釈迦牟尼仏を本尊としています(朝日村の民俗Ⅱ)。

実際、お寺を維持していくには檀家がなければ成り立ちませんが、小揚の妙道寺は60戸位の檀家があつたと言われています。現在のような集落形態ではなく、2〜3戸が田畑を耕して点在していたと思われ、その範囲は現在の小揚集落はもとより、細口と柳生戸も含んでいたと言われています。

現在の妙道寺跡は杉林になっていますが、池の周りには杉の太木があり、池の中はミヨウガが一面に生えています。寺の建物跡は確認されませんが、沢の水が豊富で、生活するには充分であつたらうと思われ、皆さんも一度足を運んでみてください。



住み慣れた地域で安心して生活するためのポイントは

“住民同士の支え合い”

「あさひ互近所ささえる隊と一緒に」「これからの館腰地域」を考えましょー

村上市に合併してからこの12年間で、館腰地域の人口は急激に変化しました(表より)。今までは地域を支える元気な高齢者の方が多かったのですが、今後は自らが支えられる側になる高齢者の方が多くなるという予測がされています。

このような中、住み慣れた地域で安心して生活するためのポイントは、地域・集落での住民同士の支え合いです。そこで、朝日地区で地域・集落での住民同士の支え合いをお手伝いしていくチームとして、「あさひ互近所ささえる隊」ができました。

【館腰地域の人口の変化】

	H20.4	H25.4	H30.4	R2.8.1
人口	2545	2433	2219	2099
0~14歳	356	290	226	198
15~64歳	1479	1412	1231	1122
65歳~	710	731	762	779
85歳~(再掲)	100	121	114	138
高齢化率	27.9	30.0	34.3	37.1

これまでにも、長津地区で話し合いを行い、集落毎に特色のある集まりの場、長津笑楽講による長津地区全体の集まりの場も開催されました。あさひ互近所ささえる隊と一緒に考え、集落毎に考えてみたいと思つたら地域福祉室(朝日支所)までご連絡下さい。

たてこし 館腰地域まちづくり通信 32号

発行：館腰地域まちづくり協議会

事務局：〒958-0292 新潟県村上市岩沢 5611 番地
(村上市朝日支所 地域振興課内) Tel.0254-72-6881
mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
Facebook や HP でも活動の様子を公開しています
Facebook <https://www.facebook.com/tatekoshi>
HP <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tatekoshi/>



編集後記

キャンプが趣味の私は、過ごしやすい秋の到来を毎年楽しみにしています。一泊しようが連泊しようが、食べ物の量が変わるだけでテントやタープを建てるという作業は変わりないので、祝日と絡み連休のある9月・10月は毎年欠かさず連泊しています。ところが今年『体育の日』は7月に充てられてました(汗)。ま〜今年の10月は、来年を楽しみに近場のキャンプ場で一泊楽しんできます。〈総務広報部会 ヤマダ〉





風にも負けず一生懸命点灯中！



さあ、これからスタートです！



朝日三面川太鼓の演奏は見事でした！



◀大汗をかきながらの図柄づくり。

▼今年は複雑な形に挑戦！



イベント全景

竹あかり たてこしのタベ&竹灯笼づくり

9月12日、小川小学校において、三面まち協と小川小学校との共催により竹あかりたてこしのタベを開催しました。9月6日の竹灯笼づくり体験には40名、今回のイベントには約250名と多くの皆様からご参加いただきありがとうございます。今回の竹灯笼の図柄は、氷の上でアイスを食べている白くまの上に傘をさしたペンギンが乗っているようすを描きました。当日は風が強く、配置した竹灯笼のローソクが消

えてしまい想定した絵が表現できず残念でしたが、幻想的であたたかみがあり綺麗でした。また、今回は小川小学校のご協力により、朝日三面川太鼓の演奏で花を添えていただきました。竹あかりの中、一糸乱れぬ迫力のある演奏でコロナウイルスも吹き飛ばしてくれたことと思います。地域の皆様には、今後ともご協力よろしくお願いたします。

歴史文化部会長 齋藤 純市



第19回

たてこし 軽トラ市



8月9日にコロナ禍の中ですが、「館腰軽トラ市」を無事開催することが出来ました。



軽トラ市を開催

産業振興副部長 渡辺良雄

新型コロナウイルスの影響により、各地でイベントが中止、延期になる中、軽トラ市を開催するかどうか役員・事務局で大変悩みました。幸い村上市内では感染者は確認されておらず、対策をしっかりすることで開催することとしました。

当日は岩船地域に大雨警報が発令され、朝からどしゃ降りということもあり開始直後は客足も鈍く心配されましたが、徐々に増え始め昨年以上の人出となり、商品の売り上げもまずまずでした。年々出店者が減少傾向にある中、今年は新規出店者も2店あり、また塩野町まち協で販売した「まちづくりコロッケ」も好評で、会場を盛り上げてもらいました。今後もまち協同士が協力し、それぞれのイベントを更に盛り上げていけたらと思います。

軽トラ市自体は毎年盛況で、それなりの成果も出ていると思うのですが、如何に新規の方に参加してもらおうかが今後の課題だと思えます。たくさんの方に協力していただき、今年の軽トラ市も無事に終えることができました。ありがとうございました。